

地域を繋ごう  
～沖縄軽便鉄道～

最終報告

与那原もりあげ隊



# プロジェクトの目的

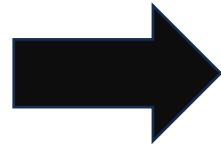
- 沖縄県内に軽便鉄道が走っていた歴史を広く知ってもらう
- 軽便与那原駅舎展示資料館の来館者数を増やす
- 軽便鉄道に関する学びの場を提供する



軽便与那原駅舎展示資料館にて行われたイベント  
2023年10月21日撮影

## 中間報告時点の計画

- ・ 出前授業・ワークショップ
- ・ 駅舎内展示品作成
- ・ オリジナルグッズ作成
- ・ 駅弁レシピ考案
- ・ スタンプラリー



## 実際の取り組み

- ① 出前授業  
(与那原小・与那原東小)
- ② オリジナルグッズ作成  
(シール・文房具)
- ③ 駅弁レシピ考案  
(おにぎり)

- ・ 出前授業・ワークショップ
- ・ 駅舎内展示品作成
- ・ オリジナルグッズ作成
- ・ 駅弁レシピ考案
- ・ スタンプラリー

**Plan**

- ・ 沖縄県鉄道与那原線  
109周年イベント参加
- ・ 出前授業
- ・ オリジナルグッズ作成  
(シール)
- ・ 駅弁レシピ試作

**Do**

**Action**

- ・ 子ども & 大人向けグッ  
ズ作成
- ・ 5月にキッチンカー出店

**Check**

- ・ 「報連相」の徹底
- ・ 小学生たちの県鉄や駅  
舎への関心度→アン  
ケート未実施

# 記事紹介

2023年12月9日

- ・ 沖縄県鉄道与那原線109周年イベント
- ・ 来館者6万人達成セレモニー  
(美らプロの学生が6万人目の来館者に)

沖縄タイムスに掲載

県民の足 ケービンへの思い/与那原 「開通109周年」シンポ/資料館来館6万人.  
沖縄タイムス. 2023-12-14, 朝刊.

## 県民の足ケービンへ思い

【与那原】沖縄県鉄道（県鉄）与那原線の開通109周年記念イベントが9日、与那原町の軽便与那原駅舎展示資料館で開かれた。民俗学、考古学、歴史学の視点で県鉄を見つめ直すミニシンポジウムのほか、県鉄が現存していたと仮定してつくった車内アナウンスの公開もあり、参加者は県民の足「ケービン」に思いを寄せた。

（南部報道部・榮田琴音）

## 与那原「開通109周年」シンポ

ミニシンポジウムでは、同資料館学芸員の喜納大作さんが歴史、民俗学、考古学、歴史学の視点で県鉄を見つめ直すミニシンポジウムのほか、県鉄が現存していたと仮定してつくった車内アナウンスの公開もあり、参加者は県民の足「ケービン」に思いを寄せた。



ミニシンポジウム後のクロストークでそれぞれの視点から県鉄を語る登壇者ら=9日、与那原町・軽便与那原駅舎展示資料館



軽便与那原駅舎展示資料館の6万人目の来館者となり、照屋勉町長（左）から記念品を受け取る（右から）津覇梨鈴さん、澤岷南々帆さん、平敷佑子さん

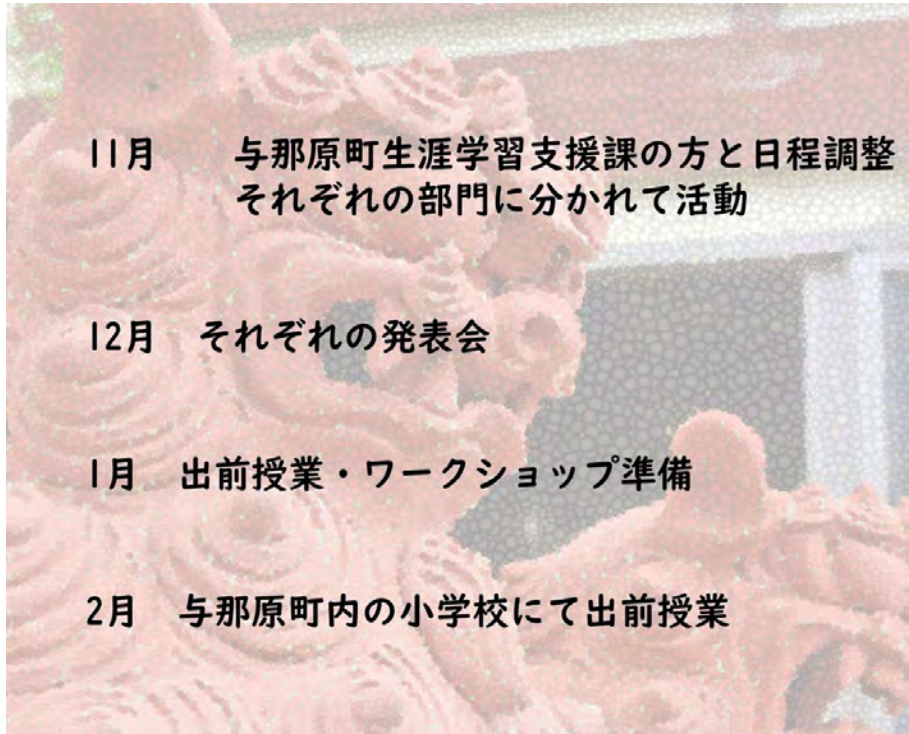
## 資料館来館6万人

登壇者とのクロストークに合わせた照屋勉町長は「沖縄県で県鉄は形を失ったが、法律上は残っているのが廃線ではない。将来、LRT（新型路面電車）を目指す中で大切な部分になる。LRTを走らせようという思いを改めて強くした」と話した。「妄想県鉄アナウンスでは、県鉄が今も走っていると仮定して喜納さんが車内アナウンスの原稿10本を作り、ゆいレールの現役運転士が読み上げた録音を公開（「マリントウン快速」や「グイナ特急」など想像上の車内アナウンスに参加者が聞き入った）。

浦添市の国吉真優さん（67）は「実際に走っているようなイメージができた。米軍の施政権下でなければ、戦後も走っていたのかなと思うのもつたないな」と思いを寄せた。同日、同資料館の来館者6万人達成セレモニーも開かれた。節目の来館者となったのは琉球大学人文社会学部で「与那原もりあげ隊」として来館者増を自指し活動する澤岷南々帆さん（21）、津覇梨鈴さん（20）、平敷佑子さん（21）の3人。照屋町長から記念品を受け取ったリーダーの澤岷さんは「立派な鉄道があったことや県鉄と人とのつながりを伝えられたらと思う」と話した。



# ① 出前授業



中間報告時の計画をもとに取り組み



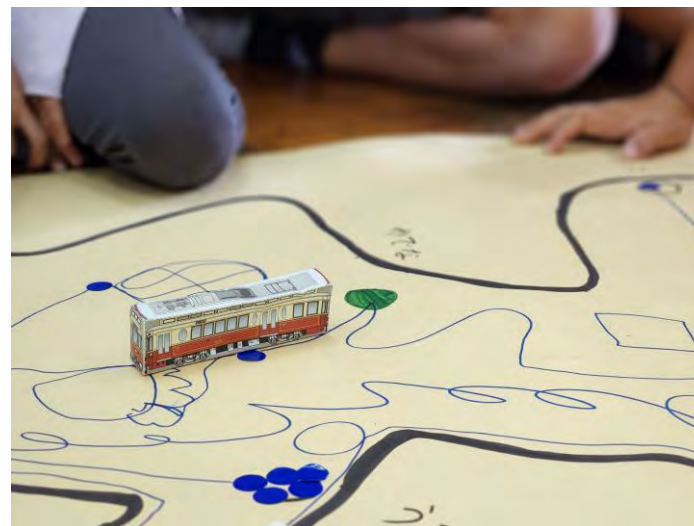
2/15与那原小、2/16与那原東小  
3年生に出前授業を実施

授業テーマ「沖縄の鉄道について考えよう！」

## 授業内容

- 1, 軽便鉄道について簡単に説明
- 2, もし今鉄道が走っていたら？路線図作り
- 3, 軽便鉄道はかせチャレンジ(クイズ)
- 4, 感想シートとチャレンジの提示

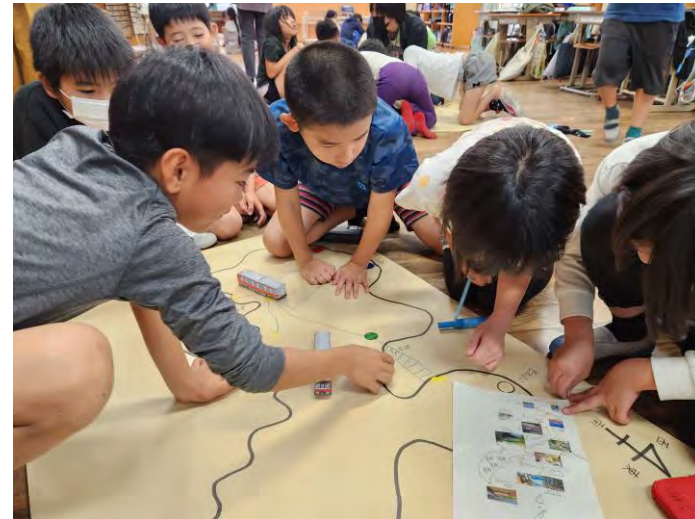
# 与那原小での授業の様子



2月15日撮影



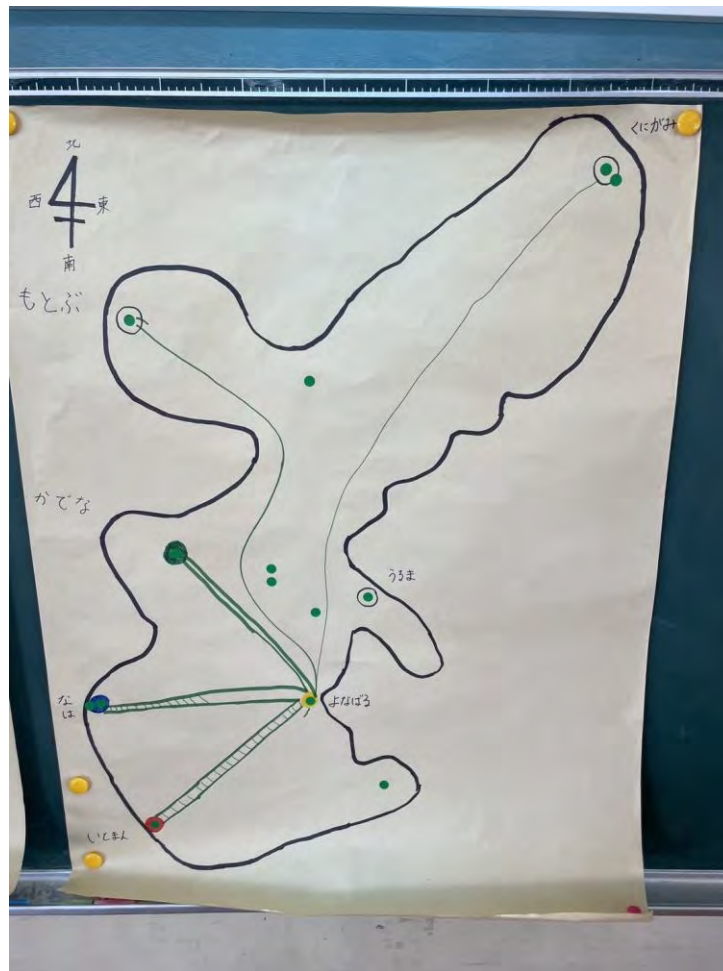
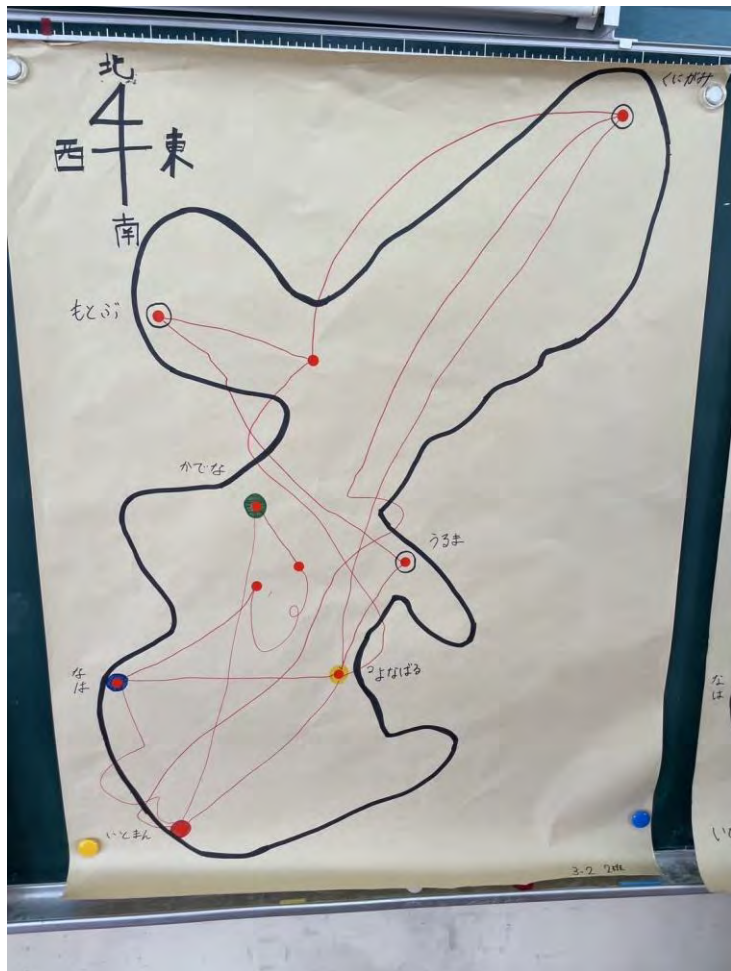
# 与那原東小での授業の様子



2月16日撮影



# 小学生の作品







## ②オリジナルグッズ

- ・ 出前授業を行った3年生へシールをプレゼント
- ・ 軽便与那原駅舎資料館と確認をとりながらデザイン
- ・ 大人も楽しめるおしゃれグッズ



子どもたちに  
この先も軽便鉄道に関心をもってもら  
えうような文房具づくり

出前授業の成  
果を受けて

ノート、鉛筆  
定規、レターセット など





### ③ 駅弁レシピ考案

- ・ かつての軽便鉄道が走った系満・嘉手納・読谷ならではの食材を具にしました
- ・ 価格は1つ250円、3種類セット600円を予定
- ・ バナナの葉で包む
- ・ 2/25 與那覇静枝さん指導のもと **試食会を実施**
  
- ・ 3種のおにぎりを3/16、3/17に与那原町マルシェにて販売予定

でしたが、諸手続きが間に合いませんでした。

4月または5月に琉大にてキッチンカーで販売予定



# プロジェクトを通して

「目的をどのくらい達成したか」

- ・ 計画を立てたうえ、2つの小学校での**出前授業を実施**
- ・ 授業及び生徒たちのフィードバックを通じ、**軽便鉄道への関心を確認できた**
- ・ 来館者数増のためのグッズや駅弁レシピについても考案した  
ただし**初期段階のアクション**を実施するにとどまった
- ・ 学びの場を提供するための駅舎内展示品、スタンプラリーについては**手が回らず**



# プロジェクトを通して

## 「課題が残った点」

- ・「**報連相**」を徹底する（いつ、だれがどう対応したのか、先方への連絡）

### 例・与那原駅舎への感想シート提出に関して

「当初出前授業では、感想シートを与那原駅舎に持っていき景品（シール）と交換するという事後学習があった。しかし、シールの作成が間に合わなかったため、後ほどシールを学校に持っていき、配布してもらうことになった。この変更点を与那原駅舎側に伝えていなかったため、後日感想シートを持ってきた子供を駅舎側が帰らせてしまった。」

このほかプレリリースの作成、授業のメディア取材についても  
報連相を徹底できていない部分があった

# プロジェクトを通して

## 「活動を通して成長した点」

- 出前授業を通じ、軽便鉄道について**幅広い年齢層**に親しみやすく伝える工夫
- 私たちの活動や考案したアクションが、地域にどんな効果を及ぼすのかきちんと**見通しを立ててから行動することの必要性を確認した**
- 「**地域に入って**」活動を行うからこそ、地域の方々や職員とこまめな確認、連絡をとる。これらを身につける必要性を痛感
- 様々な活動によって、メンバーの**協調性**を養う事が出来た。